



## ようこそ防衛省へ

### 進路担当者等説明会

東京地本は、11月12日（水）市ヶ谷駐屯地において、大学、専門学校、高校、延べ49校71名の進路担当教諭及び就職支援担当職員の参加を得て、平成26年度第3回進路担当者等説明会を実施した。

本説明会は、昨今の自衛隊の活動から、自分の進むべき道の一つとして自衛隊を考える学生を抱える教諭に、自衛隊の活動について理解を深めていただくことを目的としている。

説明会は、当初自衛隊の任務及び各種採用種目についての説明の後、大学・高校等を卒業後に入隊した自衛官（リクルータ）との懇談が行われた。参加者からは、現在の職務及び自衛隊に入隊後の体験談等について、積極的に質問が行われていた。

その後、日本武道館で行われる自衛隊音楽まつりにおいて、全国から集結した各出演部隊による最終リハーサルの様子を見学した。

参加者からは、「自衛官の様々な職種や職務を知ることができた。」「現職自衛官の生の声を聞けて良かった。」「音楽まつりが迫力あり感激した。」等の声があり、多くの成果を確認することができた。東京地本は今後も、様々な機会をとりえ一人でも多く受験生を獲得するため、尽力していく所存である。



## 竹本本部長、東大学生に対し講話

平成26年11月12日（水）、東京地本本部長竹本竜司陸将補は、東京大学工学部講堂において工学部3年生等約230名に対して講話を実施した。

当日は、「軍事と科学技術」と題し、軍事と科学技術の関係、軍事に影響を与えた技術の発達、軍事技術と民生技術との関係、軍事科学技術動向について平易に解説した。

本部長は、講話資料の中に動画を積極的に活用し、戦略と科学技術との関係を解り易くまとめ、経験談等を交えて説明した。

講話を受けた学生から「日頃は聴けない内容であり非常に興味深かった。今後も機会を捉えて同様な講義に参加したい。」等の意見が多く、東大生にも防衛及び安全保障に対する関心が高いこと並びに軍事技術に興味がある学生が数多く存在していることが認識できた。東京地本は引き続き、大学での講義等の機会を通じ、防衛に関する理解の拡大に努めていく所存である。



## 「即応態勢の連携強化」

### 東京都大規模テロ災害対処訓練参加

東京地本（本部長 竹本竜司陸将補）は11月20日（木）に地下鉄日比谷駅周辺及び都立日比谷公園で行われた「東京都大規模テロ災害対処訓練」に参加した。

市街地や交通機関を想定した訓練は、平成18年度に図上訓練を実施して以来であり、今回のような実際の施設での化学剤を想定した実働訓練は初めての試みとなる。

東京地本は、本部に情報所を立上げるとともに、現地連絡調整所に城南地区隊長（西良典2等陸佐）を連絡員として派遣した。

当日は、地下鉄駅構内にサリンが散布され多数の負傷者が発生という状況が付与され、城南地区隊長は、警察や消防などと連携し被害状況などの情報収集を行ない、第一師団の連絡員と連携を密にした。

また、本部でも現地で収集した情報を受けて、第一師団へ情報端末等などを使用して情報共有の連携を図った。

訓練の最後には第一化学防護隊などの化学剤処理部隊が被害現場に到着し、地下鉄構内を除去して訓練終了となった。

東京地本は「常在戦場・任務完遂」を目指して各種訓練に参加し、即応態勢の強化を図るため、様々な機関との連携を強化していく所存である。

